

報道各位

第59回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール ラジオ広告部門 グランプリ受賞

株式会社大広（代表取締役社長：落合寛司、本社：東京都港区、以下「大広」）株式会社大広 WEDO（代表取締役社長執行役員：濱弘幸、本社：東京都港区、以下「大広 WEDO」）は、第59回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール ラジオ広告部門にて、当社が制作に携わった「パナソニック株式会社 Voice of Home 帰っておいでアナウンス（娘）篇」がグランプリを受賞いたしましたことをご報告いたします。企業の定時退社の取り組みを支援し、社会課題の解決につながるアイデアが評価され、受賞に至りました。

JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクールは、生活者視点から優れた広告を表彰することを通じて、時代に即したコミュニケーションの在り方を模索し、広告の健全なる発展に寄与することを目的に開催され、「感性」「理性」「創造性」の審査基準から優れた広告に贈られる賞です。100名の一般消費者審査員による一次審査、20名の一般消費者最終審査員によるグランプリ及びメダリスト審査会、有識者による経済産業大臣賞審査会の三段階の審査行程から受賞作品を選出。2020・2021年度は2年度分の作品の中から、経済産業大臣賞が1作品、グランプリが6部門から1作品ずつ選ばれました。

※受賞作に関する詳細は下記のとおりです。

<第59回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール ラジオ広告部門 グランプリ>

広告主：パナソニック株式会社

タイトル：Voice of Home 帰っておいでアナウンス（娘）篇



PROBLEM
 世界有数の残業大国、日本。
 残業と共に過ごす時間も多く、心や体の健康を損なうことも多い。この残業問題を解決すべく、多くの企業が毎朝通勤時に「帰っておいで」をうたい、社内放送で定時退社を促しているが、社内にいる社員は通勤時間を利用して仕事の内容が完了しないまま、定時退社する従業員はごくわずかとなっている……

IDEA
 無機質な放送に“命”を吹き込む。
 日常に多々ある様々な課題を解決するパナソニックが着想したのは「人間の声」。施設関係者と連携して、企業で働く従業員の声（子ども・高齢者・外国人など）を呼び出して無機質な放送プログラムを制作。1台1台のスマートフォンにオフライン放送した。それは無機質な音声に「命」を吹き込み、多くの従業員の心を動かすプロジェクト。

RESULT
 社員の約9割が定時退社への意向を示す結果に。
 結果は想像以上のもの。東京からのアクセスを聞いた従業員本人だけでなく、同じように残業を終わらせた従業員にも高評価を呼び、会社全体の働き方を改善することに成功した。さらに、アナウンスを流しているラジオから放送されていること、企業側が従業員に声をかけるという取り組みに賛同し、東京の声だけで従業員に定時退社を促すだけでなく、働くひとの体と心の健康を支えるこのアイデアは、なんとコストゼロ、今後、日本中に広く展開していく。

<上記に関するお問い合わせ>

【第 59 回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール ラジオ広告部門 受賞作品】

パナソニック／企業（音響システム）／Voice of Home -帰っておいでアナウンス（娘）篇

SE：（オフィス環境音）

社内放送：今日は、ノー残業デーです。
定時退社へのご協力をお願いいたします。

M：♪～

NA：これは、とある会社で実際に流れる社内放送。

しかし定時退社する社員は、ごくわずか…。
そこで音響にまつわる様々な技術を追求するパナソニックが始めたのは、
無機質な社内放送に「命」を吹き込むプロジェクト。

SE：（オフィス環境音）（ピンポンパンポン♪）

娘：今日は、ノー残業デーです。

いつもママがお世話になっております。

ママは、お家でも頑張り屋です。

私の好きなミートスパゲッティを作ってくれたり、

私が寝てからもひとりでお片付けをしてくれます。

だから、みなさんも今日は家族とゆっくり過ごす日に見ませんか？

定時退社へのご協力をお願いいたします。

M：♪～

NA：この社内放送は、社員の家族からのアナウンス。

世の中を変えることができるのは、

テクノロジーだけじゃない。

きっと、家族の「声」だって。

これからも、心揺さぶる音を、世界へ。

CI：Panasonic ♪ ABetterLife, ABetterWorld ♪